

愛育

NO. 42
2018

発行／2018年3月26日
編集発行／社会福祉法人
恩賜財団母子愛育会愛育推進部
〒106-8580



東京都港区南麻布5-6-8
TEL 03-3473-8315
FAX 03-3473-8454
URL <http://www.boshiaaikukai.jp/>
Email suishin@aiiku.or.jp

第49回 愛育班員全国大会開催



平成29年4月19日(水)明治記念館において、総裁秋篠宮妃殿下のご臨席のもと愛育班員等458人の参加を得て愛育班員全国大会を開催いたしました。この大会は愛育班員の日々のボランティア活動に感謝の意を表し、総裁表彰・会長表彰を行うとともに、愛育班員ならびに関係者の方々との交流を図り、愛育班活動の充実・発展を目的に行われています。また、全国の班員さんから愛育班活動の手記を募集し、日頃の愛育班活動に対する思いなどを寄稿していただいています。第1部式典では、古川貞二郎会長からのあいさつ、総裁のおことばをいただき、その後、総裁表彰、会長表彰、模範愛育班指定が行われました。特別来賓の方々のご祝辞のあと、愛育班員手記優秀作の朗読発表がありました。たくさんのお応募作品の中から優秀作1篇、佳作2篇が選定されました。

第2部は、「愛育班員から伝えて欲しい」愛着のある育児の大切さ」と題し、小児精神科医師の渡辺久子先生の講演が行われました。親子へのあたたかいまなざしで医療に従事されている先生は、工業化社会の中で、子どもらしく生きる・子どものころを育む愛着のある育児が自然にできているのだろうかとい問いかけられました。さらなる愛育班員活動が求められていると実感しました。その後、総裁表彰、会長表彰受賞された14名の方々の活動を紹介しました。第3部「愛育のつどい」は、お弁当をいただき、情報交換を行いました。班員同志で日頃の想いを語り合い、今後の愛育班活動への励みになったようです。

表彰を受けられた方々 ～おめでとうございます～

総裁表彰

広瀬 堯子 (恩賜財団母子愛育会大分県支部名誉支部長)

会長表彰 (愛育班員)

- 山本 キエ (秋田県八峰町観海地区愛育班)
- 前田千恵子 (埼玉県長瀬町母子愛育会)
- 加藤 正子 (埼玉県加須市母子愛育連合会)
- 山内セツ子 (埼玉県ふじみ野市母子愛育会)
- 小林 琴代 (山梨県大月市愛育会)
- 森中 御幸 (兵庫県上郡町鞍居地区愛育班)
- 西村 雅子 (兵庫県香美町愛育会)
- 辻 正子 (岡山県岡山市愛育委員協議会)
- 吉村 悦子 (香川県丸亀市富熊母子愛育班)
- 久良 茂 (大分県竹田市秋町愛育保健推進員会)



秋篠宮妃殿下から総裁表彰を受ける広瀬堯子氏

会長表彰 (育成者)

- 吉村 美穂 (福井県鯖江市健康福祉部健康課)
- 小林 勝美 (山梨県都留市健康子育て課)
- 大野 鶴代 (岡山県備前保健所保健課)

「愛育班員の手記」入選者

- 【優秀作】岡崎 文代 (岡山県玉野市愛育委員協議会)
- 【佳作】田中 敬子 (香川県観音寺市愛育会・賛助の会)
- 神田 多子 (大分県豊後大野市愛育会)



「愛育班員の手記」優秀作を発表する岡崎文代氏

(敬称略)

岡山を訪ねて

皆さまの愛育班活動

母子愛育会総裁 秋篠宮紀子

愛育班活動に接するたびに、皆さまの地域に寄せる思いが伝わり、感謝の気持ちを抱いております。昨年は、母子愛育会の勧めにより、岡山県愛育委員連合会の皆さまとお会いしました。岡山県では、愛育班員は「愛育委員」と呼ばれ、全市町村に「愛育委員会」が設置されています。

紅葉が美しい季節、お天気にも恵まれた十一月十四日、吉備中央町にて、岡崎会長をはじめ、多くの方々にお迎えいただきました。

最初に、岡山県支部のこれまでの活動の歩みと現在の活動について、お話を伺いました。岡山県の愛育活動の歴史は長く、昭和十五年に、邑久郡邑久町（現在の瀬戸内市）が愛育村の指定を初めて受けました。その後、全県に活動が広がっていき、昭和三十年には岡山県愛育委員連合会が創立されました。「母子の健康を守りたい」という地域の婦人の思いと、「母子保健の向上を図りたい」という行政の思いが重なって、活動が始まったそうです。現在は、約一万八千人の愛育委員が

活動しています。活動は、赤ちゃんから高齢者まで、広い年齢層を対象にこなわれています。その一つはがん検診の啓発で、スーパーやイベント会場、戸別訪問、地元のケーブルテレビへの出演、学校のPTAなど、多様な機会を利用して乳がん検診をすすめています。



乳がん検診の受診勧奨の寸劇を鑑賞

その後、「がんで命を落とす人を一人でも救いたい」という思いのこもった寸劇を、県内の保健師方と一緒に拝見しました。認定こども園で、乳がん

検診の受診をすすめる活動を題材にした寸劇です。実際に乳がん触診モデルを用いて自己検診の方法を学び、乳がん検診受診の重要性を再確認するなど、がん予防の大切さを知ることができました。

続いて、吉備中央町立加賀中学校を訪れ、「中学生と赤ちゃん、お母さんのふれあい体験」の授業を見学しました。生徒たちは、事前に、離乳食の試食や妊婦体験ジャケットによる疑似体験などの学習をしたとお聞きしました。会場では、中学生が、赤ちゃんを抱いたり、離乳食を食べさせたり、お母さま方にインタビューをしたりしていました。そして、そのそばで、愛育委員が、保健師、栄養士などの学校の職員とともに、授業をサポートしていました。

それぞれのグループをまわりましたところ、赤ちゃんにミルクを飲ませながら、「かわいい」と話す中学生のお兄さんの姿がありました。マットの上で安心した様子の赤ちゃんを、優しい眼差しで見守る中学生のお姉さんの姿もありました。家族のような温かさを感じて、うれしく思いました。十代のときのこうした体験は、命の大切さを考える貴重な機会になったのではないのでしょうか。このような活動に参加されたお母さま方からも、「中学生の皆さんが質問したり、接したりしてくる姿を見て、改めて、子どもの大切さ

を実感できました」などの感想がありました。加賀中学校を出発する際には、先生方や多くの生徒たちがお見送りくださいました。少しお話することもでき、うれしいひとときでした。



中学校でのふれあい

岡山県の愛育委員お一人おひとりが、「自分たちの地域の健康は自分たちで守る」という意識で活動されており、地域と行政をつなぐ大切な役割を果たされていると感じました。各地域の組織が連携しながら、目配り、気配り、思いやりの心で続けられている活動を、大変心強く、またありがたく思いました。

全国の他の地域においても、愛育班員の皆さまが、意義深い活動をされています。これからもお身体を大事にされ、ご活躍くださいますよう、願っております。

健やか親子21全国大会が宮崎県宮崎市で開催されました

平成29年度の健やか親子21全国大会は、「日本の“ひなた”から親子を笑顔に」をテーマに、宮崎県宮崎市で10月25日・26日・27日に開催されました。

本会主催の母子関係者研究集会は25日に行われ、本会愛育相談所の齊藤万比古所長が「子どものパーソナリティ発達と環境」をテーマに講演を行いました。講演では、子どものパーソナリティ発達の構造を理解し、早期母子交流の展開を支えるアタッチメント（愛着）とメンタライゼーション、パーソナリティ形成を脅かす要因、児童虐待がもたらす諸問題を学びました。その中で、思春期の被虐待児をどう支えるか考えていきました。全国から180名の関係者の参加を得て、盛況のうちに終了いたしました。

26日の式典では、母子愛育会会長表彰を45人、2団体が、厚生労働大臣表彰を愛育班員等67人、2団体がそれぞれ受賞されました。お祝いを申し上げます。

式典における本会古川貞二郎会長の挨拶に、『この大会において、すべての子どもが健やかに育つ社会の実現のためには、親子が笑顔でいる環境づくりが

大切であるとされ「日本の“ひなた”から親子を笑顔に」がテーマになっております。ここで皇后陛下が御作曲くださり、昭和44年に母子愛育会に賜りました御歌『おもひ子』が心に浮かんでまいります。御歌は『皇后陛下美智子さまの子守歌』CDブック『おもひ子』となって本年8月に発刊されました。慈しみにあふれた御歌を聴いておりますと、自然に微笑みが生まれます。この大会の「すべての親子を笑顔に」というテーマにつながる思いがいたします。』という言葉がありました。この大会に参加していた愛育班員の方々から、恩賜財団母子愛育会の愛育班員として活動することは誇りであり、大切にしたいとお声をいただきました。

他に母子保健に関する集会やシンポジウムが開催され、母子保健の“これから”を考え、“今”を幸せだと感じる地域を育てていく事を目指し、保健・医療・福祉・地域で様々な活動に取り組む関係者が集いました。

次年度は、平成30年11月7、8、9日に、三重県津市にて開催されます。

母子愛育会会長表彰 (敬称略)

愛育班員	宮田 邦子	埼玉県	
	町田 徳代	埼玉県	
	池田美知子	山梨県	
	秋山 眞澄	山梨県	
	大高 禮子	兵庫県	
	若狭 一子	兵庫県	
	小坂 良子	岡山県	
	田中 満子	長崎県	
	団体	忍野村愛育会	山梨県 (会長：杉崎さち子)
		岡山市高松地区愛育委員会	岡山県 (会長：池上 展子)

厚生労働大臣表彰 (敬称略)

村田 朝子	埼玉県
高橋 信子	埼玉県
岩澤 昭子	埼玉県
田尾 弘子	香川県



恩賜財団母子愛育会愛育の活動展示



第56回 愛育班長研会 開催報告

平成29年7月5・6・7日の3日間、参加者7名（埼玉県ふじみの市、山梨県甲府市、香川県小豆島町、香川県観音寺市2名、大分県宇佐市2名）で実施しました。

1日目は、参加者から「わが町の愛育班活動」について紹介し、情報交換を行いました。また、昭和44年に開催された第1回愛育班員全国大会の総裁表彰受賞者である「矢崎きみよ」氏を取り上げた番組「日本を動かした白根の偉人伝」で愛育班活動の歴史を学び、活動への想いを共有しました。2日目は、埼玉県上尾市母子愛育会の「親子のつどい」を見学し、その後愛育班員との交流を行いました。

上尾までの車内は、修学旅行の様に楽しく過ごしま



上尾市母子愛育会主催「親子のつどい」に参加した児の手・足形をとる上尾市母子愛育班員と研修参加者



した。

3日目は、本会愛育病院山口規容子名誉院長の講義「最近の育児をとりまく環境と育児支援の取組み」で愛育の重要性を再確認し、その後上尾市母子愛育会大井川芳江会長を交え、今後の愛育班活動について話し合いました。

日本各地の愛育班員と交流しながら、愛育班活動のアイデアや工夫、また悩みや課題も共有できました。

研修終了後、早速に研修の成果を活かしたと研修参加者から報告がありました。次年度は、対象を班長にプラスして今後班長やリーダー役割を期待する者など、幅広く参加者を募っていきます。

埼玉県庁・上尾市母子愛育会・上尾市の方々と上尾市東保健センター前にて



<班長研修会参加者の声>

- 上尾市母子愛育会の地区特性を活かした自立した運営、班員みんなが楽しく元気で活動している姿、行政との緊密な連携、活動における様々なアイデアや工夫などたくさん学びました。
- 学ぶということに年齢は関係ないものだ実感しました。

<終了後の研修会参加者からの報告>

- 「班長研修に行って、別人になったね。」「そのやる気は、どうしたの」と言われました。
- 市の保健師さんに伝えたら、初めて保健センター長が愛育班活動を観に来てくれました。

第56回 愛育班組織育成者研修会 開催報告

平成29年8月29・30・31・9月1日の4日間、参加者5名（埼玉県入間市、埼玉県三郷市、埼玉県所沢市、山梨県甲府市、大分県東部保健所）で実施しました。

1日目は、参加者の自治体の愛育班活動の紹介や課題を出し合うことで、現状を共有しました。2日目は、活性化の講義や地区診断演習・GWと盛りだくさんの内容でした。3日目は、山梨県南アルプス市の実施研修です。南アルプス市愛育連合会各地区の愛育班長の皆様の熱意ある活動に感激、市健康増進課との密な連



南アルプス市愛育会の方々と愛育会館「矢崎きみよ」氏銅像前にて

携にも感心です。4日目は、学びをまとめました。研修生は永い歴史と伝統を基としながらも、現代の地域住民の生活や気持ちに添って愛育班活動を展開されている南アルプス市愛育班員から、大切なものを学びました。

研修全体の学びとして、①愛育班活動支援は保健師活動そのものであると再認識②班員が楽しいと思い、保健師も楽しいという思いが活動を継続させる③愛育班活動の「見える化」の工夫等もあげられました。

保健師同士の学びも大きいので、次年度は参加しやすく3日間とする予定です。ぜひご参加ください。

<南アルプス市実施研修に参加しての声>

- 愛育班担当保健師として本も読んだが、意義についての実感はなかった。南アルプス市へ行き愛育班の方々と話し、愛育会の歴史を見て感じて、すごく、すごく大切な組織だと実感できた。
- 愛育会を継続させてきた方々、支えてきた保健師がいたからこそ、今も活動できているのだと思い、自分の市愛育班の歴史を愛育班の方を通して、今後、学んでいきたい。

平成29年度 愛育班員・育成者ブロック研修会を全国2ブロックで開催

島根県・岡山県ブロック研修会
島根県雲南市で開催 参加者数：36名

恩賜財団母子愛育会の「愛育班員・育成者ブロック研修会」は、平成29年度から全国を8ブロックに再編し、2ブロックで開催しました。

「島根県・岡山県ブロック研修会」は、10月16日に「出雲國たたら風土記」として知られている島根県雲南市で開催しました。雲南市健康福祉部次長より歓迎の言葉、島根県健康福祉部健康推進課長にご挨拶をいただきました。その後、愛育班活動紹介や「住み続けたい地域づくりは、楽しい愛育班活動から」をテーマに講義や意見交換も行いました。

島根県雲南市の愛育班活動

雲南市日登地区愛育班は、活動を始めて40年。熱心に活動継続し、発足当時の子ども達は、今は立派なお父さん・お母さんとして、子育て奮闘中です。

現在は、①受け持ち家庭を訪問しての声かけ②「愛育だより」の発行③保健師さんに出向いてもらい健康相談④各種研修会（歯とお口の健康、検診の重要性、ロコモ予防体操等）や大好評な県外へのリフレッシュ研修⑤地域で喜ばれる「ふるさと祭り」での、手作りの廃油石鹸づくり石鹸、ゴキブリ団子、アクリルたわし、ヨモギローションの販売等があります。他に地元の福祉施設の夏祭りにボランティア参加もしています。

活動内容も変化してきていますが、地域みんなが健康で住みよい暮らしができるよう活動を続けます。

島根県益田市愛育班の活動紹介

種地区保健班の始まりは、昭和58年の山陰集中豪雨被害で復興に奮闘する人々の貧血や低栄養状態の改善に向け、健康づくりの会として結成されました。

～声かけて みんなでつながる 元気な種～をスローガンに、現在の活動は、月1回の分班長会、保健だより、健康相談、年間イベント①6月：食改さんと作るあじさい弁当、地元牧場ミルク使用のジェラートが好評なあじさい園健康ウォーク②7月：総会③10月：運動会・健康クイズ&体力測定④11月ふれあい昼食会⑤文化祭（測定コーナー&活動展示）⑥1～2月：大腸がん検診協力

活動の成果として、(1)長年の活動から、健康づくりを地区全体のこととして捉えることができている。(2)自治会、公民館、食改さん等と一緒に歩むことで活動が拡がり、地域に根づいた組織として活動が続いています。

島根県知夫村愛育班の活動紹介

歴史ある自然豊かな知夫村は、本土から高速船で約1時間の島です。昭和58年に愛育班が発足し、当初の活動は月1回の声かけ運動が中心でした。

現在は、「誰かのために役立ちたい」という思いのもと、健康相談や健康診断時の受付・塩分測定・栄養調査に協力し、タバコ対策ポスターやごきぶり団子づくりも好評です。親子交流会、高齢者のお弁当づくり、男性交流会、地区交流会（喫茶 いっぶく亭）、健康づくり交流事業（灯台の集い等）など、母子から高齢者まで、全ての住民を対象としたものに広がっています。また、地元のスcoopも掲載し楽しい記事が数々の愛育班だより作成、総会、研修会、島根県立大学保健師学生さんとの交流など、住民の皆さんが生きがいや希望をもって暮らせるような島づくりのお手伝いができるよう活動しています。



ブロック研修会
(雲南市役所)

昼食：地産地消の絶品田舎料理で交流



大腸がん検診に協力



自治会での健康相談

◆保健だよりの発行（毎月発行）

保健班の活動の様子や健康に関する情報を掲載し、分班長が各戸へ手配り
→全戸配布により、保健班の情報が地区全体にもれなく行きとどく



あじさい園健康ウォーク



保健師学生との交流（灯台の集いにて）

カヤ（すずきまんじゅの葉）がたりを使い、まきづくり





地域のお母さんが
すすめる健康支援事業

思春期ふれあい
体験事業



城里町にて
ブロック研修会

ブロック研修会にて城里町母子愛育会
「ひなまつり会」に参加



ひな人形づくり



愛育汁調理中

七夕まつり



クリスマス会



足型プレゼント



愛育会議の風景

託児ボランティア 子育てふれあいサロン



岡山県真庭保健所管内愛育委員の活動紹介

昭和11年、恩賜財団愛育会により全国に愛育村が指定されました。岡山県では、真庭郡久世町、邑久郡邑久町が指定を受けました。昭和30年8月、岡山県下約6,000人の愛育委員により岡山県愛育委員連合会が結成されました。様々な愛育委員さんの献身的な活動が効を奏し、昭和52年から3年間は、乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡がすべて全国で一番少ない県になりました。

現在の活動は、「中・高校生と乳児とのふれあい体験学習」、地域の子育てボランティア等と協力し内容を工夫して取り組んでいる「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」、地域の健康まつりやスーパーなどあらゆる機会を活用した生活習慣病や禁煙、がん検診のよびかけを行っています。今年度は知事からも期待されている「女性のがん予防活動」に重点的に取り組んでいます。

茨城県・埼玉県ブロック研修会 茨城県城里町で開催 参加者数：59名

「茨城県・埼玉県ブロック研修会」は、平成30年2月20日に町のシンボル大樹『スダジイ』がそびえる城里町常北保健福祉センターで開催しました。城里町母子愛育会主催の「ひなまつり会」は、城里町長の挨拶で開始、千代紙のかわいいひな人形のフラワーアレンジメント作成、楽しい絵遊びに参加親子は“にっこり”、おいしい愛育汁（手作り出汁に野菜・すいとん）に“幸せ”の笑顔で一杯でした。参加愛育班員も愛育汁をいただき、皇后陛下御作曲の「おもひ子」を聴き癒されました。午後は城里町健康保険課長より歓迎の言葉、茨城県少子対策課課長補佐にご挨拶をいただき、活動紹介、講義も行いました。

城里町母子愛育会の活動紹介

昭和54年に愛育会発足、平成17年の合併で城里町母子愛育会として設立。三大大事は、七夕まつり（会員自らが笹を取り子どもと飾りつけ）・クリスマス会（リースやツリー作り）・ひなまつり会（ひな人形やフラワーアレンジメント作り）です。真心こめて作る特製「愛育汁」もふるまい、長年好評です。

離乳食教室や健診での託児は、単なる託児ではなく楽しい会話で「身近に愛育会が見守っていますよ」というメッセージを出し、健診受診率向上にもつながっています。研修会は、アイデア・特技を出し、今年は、班員がシルバリーハビリ体操とフォークダンスを実施しました。1歳児歯科健診時に手づくり色紙に手書きイラストと「はじめの一步」と手書きし足型のプレゼントと、ブックスタートも一緒にプレゼントしています。子育てを応援し、子ども達の健やかな成長を見守りながら今後も活動を続けていきます。

北茨城市愛育会の活動紹介

北茨城市は、五浦海岸の六角堂や詩人野口雨情で知られる歴史ある町です。3つの愛育班があり、昭和55年～現在に至るまでの37年間、毎月1回愛育会議を実施し、健康の話し合いや疾病予防料理講習、健康運動等の学習を行い住民へ伝達しています。声かけ訪問カードに記録をし、保健師さんのアドバイスを心得、お子さんやお年寄りの健康について班員同士で一緒に考え、自分たちにできることを実施しています。また、社協の子育てふれあいサロン夏祭りでは、食改兼任の班員が協力し、おやつ（H29野菜チーズ蒸しパンと牛乳かん）を手づくりし、レシピを親子に配布し大好評です。レシピは市管理栄養士が考え、愛育班の説明も入れています。また、離乳食教室や育児相談においては、託児ボランティアを実施し、班員にとっても良い刺激になっています。

石岡市仲町愛育班の活動紹介

昭和浪漫を感じる風景が残る石岡市において活動する仲町愛育班は、町内会28戸3名で活動しています。保健師さんと班員会議を開き、活動計画を立て公民館で健康サロンを開催し、血圧測定・減塩食づくり・インフルエンザや熱中症予防の学習・健康体操を楽しんでいます。高齢者対象の「お楽しみ遊食会」を年3回開催、延べ100人の参加者に手づくりお弁当を提供し、大変喜ばれています。班員は、様々な場面でそっと心を寄せ、見守りを続けています。

数年前のブロック研修会の際、隣席のどちらかの班員の方に「後継者がいなく続けられない」と話したところ、耳元で『がんばれ』『がんばれ』と小さな声で言われました。つい、こぼれ落ちそうになった涙をぐっとこらえました。この言葉は仲町愛育班を支えてくれて、今でも3人で愛育班を続けています。



健康サロンにて保健師さんと共に



「親子のつどい」にて手形・足形をとります

埼玉県上尾市母子愛育会の活動紹介

田園都市から工業都市、そして住宅都市へと変ぼうをとげている上尾市の母子愛育会は、昭和25年創立（模範衛生村指定）、昭和30年には乳児死亡減少を認められ埼玉県知事表彰を受けました。昭和33年合併により上尾市母子愛育会が誕生、現在1,300名の班員と保健師さんと協働活動しています。

核家族化、少子高齢化により活動も変化し、プライバシー保護、児童虐待、子どもの貧困など深刻な問題も生じ始めました。赤ちゃん訪問事業には、多くの班員も関わり、地域とのつながりや他団体との連携にも努めております。

乳幼児と保護者が集まれる場所を提供する「親子の集い」は、保健センターや各公民館で年間132回、延4,000名の参加で、成長記念として好評な手形・足形とりを行っています。今後も行政と協働し、顔の見える活動を行います。



恩賜財団母子愛育会 愛育推進部長就任のごあいさつ

全国の愛育班活動をされている皆様方におかれましては、地域の人々のために日々ご尽力いただき心から感謝申し上げます。

平成29年4月に母子愛育会愛育推進部長に就任いたしました。4月19日の愛育班全国大会をはじめ、各支部、連合会の愛育班総会、研修会等に参加させていただきました。多くの愛育班員さんと交流させていただく中で、愛育班活動の素晴らしさや重要性を学びました。

少子高齢化の進展、地域コミュニティの希薄化などと言われて久しいところですが、今後益々“地域の人々の絆や助け合い”“地域の人々の力”が重要と言われています。愛育班の活動を知れば知るほど、「子育てしやすい、住み続けたい地域づくりは、楽しい愛育班活動から」という思いがいたします。

一時期からみますと班員さんの数は減少し、班員の高齢化、役員の成り手がいないなどの課題はありますが、「無理なく、楽しく」をモットーに活動され、熱心に活発に活動されている愛育班も沢山あります。また、それを県庁、保健所や市町村の保健師さんが支援し、共に考え、協働して活動されております。

保健師さんとの連携は大変重要で、愛育班活動は、保健師さんとの連携なしには成り立たないと言っても過言ではないと思います。

平成30年1月12日、「歌会始の儀」が皇居宮殿「松の間」にて「語」をお題に行われました。

総裁であられる秋篠宮妃殿下は「人びとの暮らしに寄りそふ保健師らの語る言葉にわれ学びけり」とお詠みになられました。

育成者である保健師の方々からは「心が感動と喜びで震えました」「御歌から今の自分を支えるいくつもの現場活動の場面が浮かんできました」「愛育班員さんや住民の皆さんが喜んでくれたのが、一番嬉しいです」など、職場では感動の嵐のような状況であったということです。また、全国の愛育班員さんからは「保健師さんと共に、涙と笑顔で喜びました」「保健師さんのご苦労が報われ嬉しい」と、保健師さんと喜びを分かちあったエピソードが寄せられました。

このようなありがたい御歌を胸にした保健師さんと共に、愛育班員の皆様と力をあわせて、愛育班活動を継続し、さらに活発に行われる様に務めてまいりますので、お力添えをよろしく願いいたします。

愛育推進部長 山田 邦子



愛育班活動にお役立てください

愛育班手帳2018

2015年から愛育班員手帳を作成し、皆様にお使いいただき、おかげさまでご好評をいただいております。

2018年版を作成しましたので、引き続きご愛用ください。

内容

「愛育班員の証」
「愛育班活動の基本」
「ダイアリーとメモ」等で構成されています。



○定価：500円(税込) ※送料無料
(ビニールカバー別途100円)

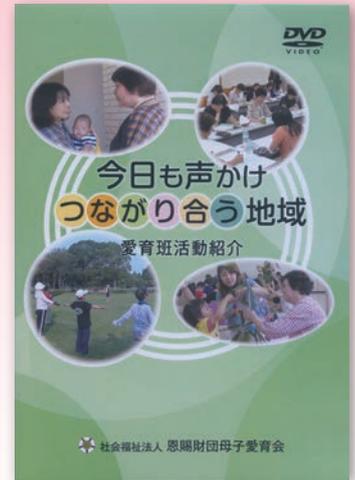
愛育班活動紹介DVD

『今日も声かけつながり合う地域』

愛育班員全国大会にて上映し、大変反響のあったDVDです。

愛育班活動の歴史、基本的な活動、愛育班全国大会や各研修会の様子も盛り込んだ内容となっております。

- 1,000円(税込)
- 約26分
- 送料1枚140円



お申込・お問い合わせ先

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育推進部
TEL 03-3473-8315 FAX 03-3473-8454

平成30年度 第57回愛育班長研修会、第57回愛育班等組織育成者研修会のご案内

研修会の詳細は、決定次第母子愛育会のホームページにてお知らせします。

班長という名前でなくても、まとめ役や各種役割を持つ方、今後リーダーとして期待する愛育班員など、どなたも参加できます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

	愛育班長研修会	愛育班等組織育成者研修会
開催日	7月4日(水)～6日(金)	8月29日(水)～31日(金)
申込開始日	5月7日(月)	6月18日(月)
申込締切日	5月25日(金)	7月10日(火)
対象者	単位愛育班の班長や愛育班員	保健師
受講料	無料(別途見学交通費がかかります)	無料(別途見学交通費がかかります)

編集後記

平成30年2月に機関誌を編集中、福井県の豪雪被害がありました。

鯖江市保健師は、職場で健診等の事業中止対応連絡係、何日も職場に戻らず災害現場で活動する係と役割分担し、愛育班員は地域の人々と雪かきをし、生活物資を助け合いながら、雪が止むのを待っているとお聞きました。

全国の豪雪被害が拡大しないよう、皆様方とともに祈るばかりです。

訃報

岡井崇愛育病院長は、平成29年12月21日肺がんのため逝去されました。享年70歳。

岡井病院長は、来年度からは時間が取れるようになるので、全国の愛育班活動のためお役に立ちたいという思いを話されておられました。ご支援を心待ちにしておりましたので、残念ではありません。

こころからご冥福をお祈りいたします。